

個別リスク検診研究
ニュースレター

「アイリスレター」は、
個別リスクの内視鏡検診研究に
ご協力いただいた方に
お送りしているニュースレターです。



見出し

- * 研究協力者 1 万人に未だとどかず1
- * 高齢者は何歳から？2
- * 研究地域紹介：鳥取県米子市4

発行日 令和 4 年 10 月 14 日

発行元 胃内視鏡検診
研究事務局URL <http://www.j-sasg.jp/>

研究協力者 1 万人に未だとどかず

コロナ禍にもかかわらず、2022 年度も引き続き、研究協力者のリクルートを全国 13 地域で推進しています。2022 年度からは新たに神奈川県川崎市が参加しました。内視鏡検診は主として地域の医師会の先生方にご協力頂いていますが、コロナの発熱外来や予防接種などで思うようにリクルートが進まない状態です。2020 年度からご協力頂いている東京都世田谷区や福岡市など感染者の多い都市部はなかなかリクルートが困難な状況です。2021 年度までの総リクルート数は 9,286 人でした。2022 年度は、8 月末現在で 305 人の方々がさらに研究に参加しています。グラフが地域別のリクルート数の推移を示しています。今年度のリクルート状況によっては、2023 年度もリクルートを継続する可能性があります。さらに研究対象地域を広げるための交渉を現在も行っています。コロナ感染もまた少し落ち着いてきました。皆様には、引き続き、ご協力をお願いします。

図.各地域のリクルート状況



本研究は、日本医療研究開発機構研究費による「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」(課題番号：22ck0106729) 研究班(研究代表者 深尾彰)の一部として行っています。

高齢者は何歳から？

「最近の高齢者は元気がいい」という話はしばしば耳にします。政府の保健統計などは65歳以上を高齢者としています。特別な疾患がない限りは65歳からが介護保険サービスの対象となります。また、新たな医療保険制度として創設された後期高齢者医療制度は75歳以上が対象となっています。最近では、日本老年学会・日本老年医学会では、高齢者の定義を75歳以上とし、90歳以上を超高齢者とすることを提案しています。

日本は世界の長寿国であり、その成果には日本の医療保険制度が貢献してきました。平均寿命は、男性81.4歳、女性87.5歳となり、今後さらに増加するという予測

も出ています（図1）。平均寿命の増加は社会で暮らす高齢者が増加することになります。現在、高齢化率（65歳以上の高齢者の割合）は28.9%となっています（2021年10月）。今後も高齢化率のさらなる増加は予測され、2025年には30%を超えることが予想されています。高齢者の増加に伴い、労働力人口の減少や社会保障費の増加などが社会的にも注目されています。

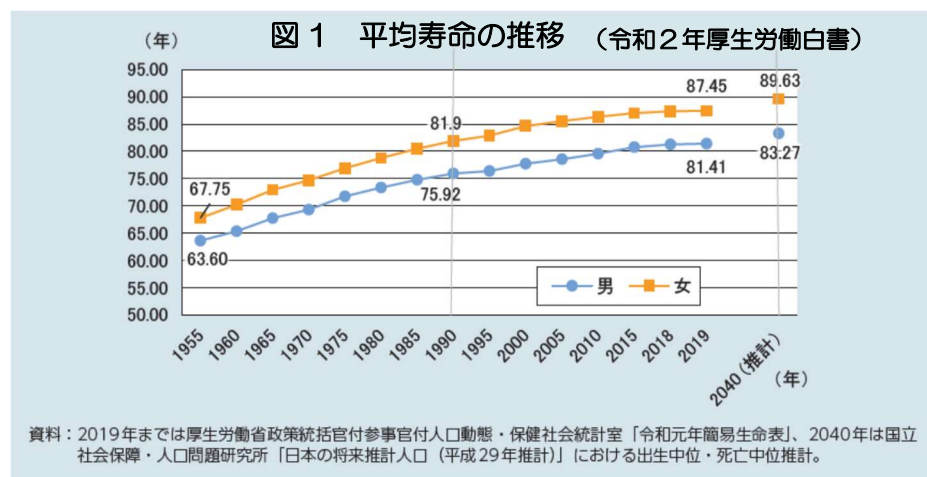
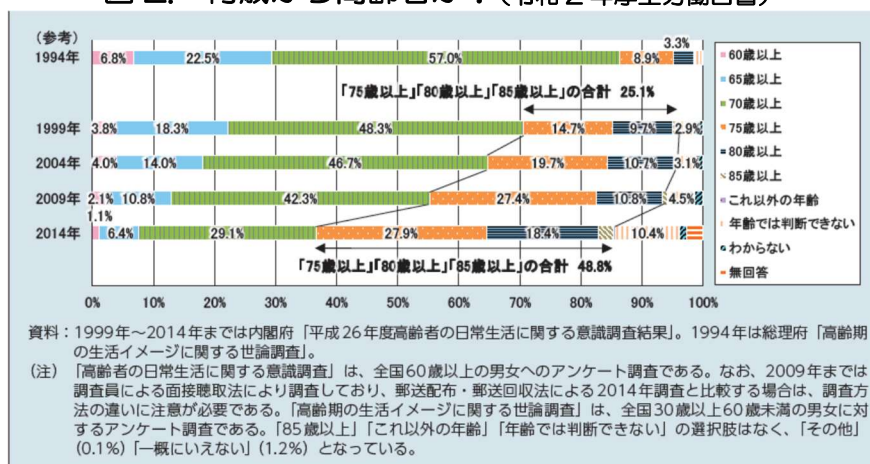


図2. 何歳から高齢者か？（令和2年厚生労働白書）

何歳から高齢者と定義するかについては、社会の意識が変わりつつあります。内閣府が行った調査では、75歳以上からを高齢者とする人の割合が約50%を占めています（図2）。日本の高齢者就

労率は諸外国に比べ、高いことも知られています。しかし、介護保険の認定者は75-80歳では80万人ですが、80歳以上を超えると150万人近くに増加します（図3）。



健康な老後を過ごすことができるかどうかを示す指標に健康寿命という考え方があります。平均寿命はいつまで生きられるかを示す指標ですが、健康寿命はいつまで健康に生きられるかということを示す指標です。我が国は平均寿命も長い分、健康寿命が長いのですが、両者の差が以外に大きいことが知られています。平均寿命は男女ともに 80 歳を超え

ていますが、健康寿命は両者共に 75 歳前後です（図 4）。特に、女性は長生きをする分、必ずしも健康とは言えない老後を 10 年以上続けることになります。そうすると、長生きをしても実は病気で悩んだり生活の支障をきたしながら、生活する高齢者が多いということを示しています。

最近では平均寿命を延ばすだけでなく、健康な老後を過ごすことが社会の目的になりつつあります。高齢者の健康づくりを推進するために、各地で様々な取り組みが行われています。神奈川県大和市では、「70 歳代を高齢者といわない」という宣言を出し、誰もが 100 歳まで元気で、社会から必要とされる「生涯現役」であるという意識を広めています。富山県では、「元気とやま！健康寿命日本一プロジェクト」として県全体で健康づくりのために、減塩運動を始めとする食習慣の改善やウォーキングなどの運動習慣の普及に取り組んでいます。多くの地域で、高齢者になっても社会との関わりを持ち、健康で暮らす仕組みづくりが進められています。

参考文献
内閣府. 令和 4 年高齢者社会白書
厚生労働省. 令和 2 年厚生労働白書
内閣府男女共同参画局. 平成 30 年男女共同参画白書
公益財団法人 長寿科学振興財団. 健康長寿ネット. 高齢者の定義再検討と新しい高齢者像：日本老年医学会の取り組み (tyojyu.or.jp)

図 3. 要介護認定者年齢

男女共同参画白書 平成 30 年版

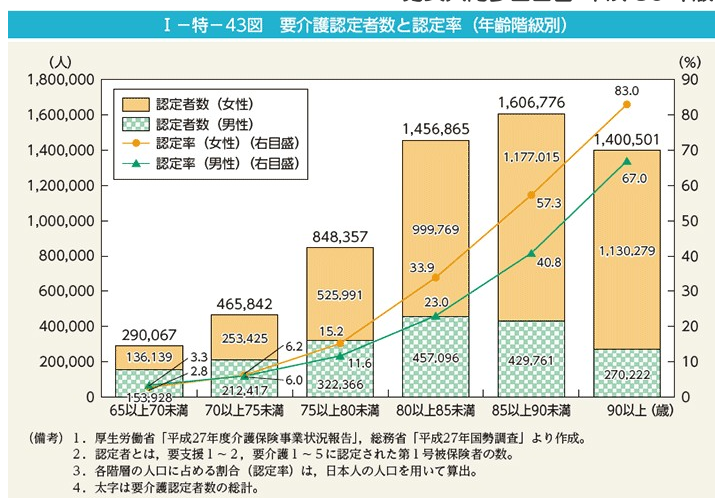
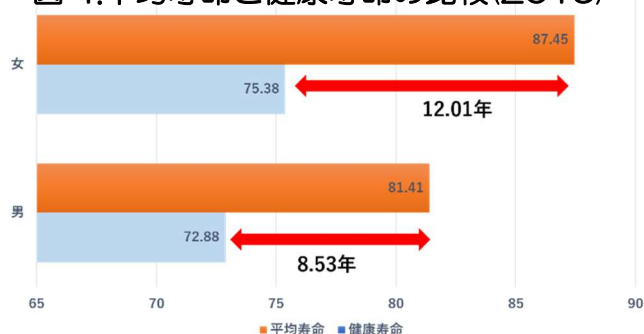


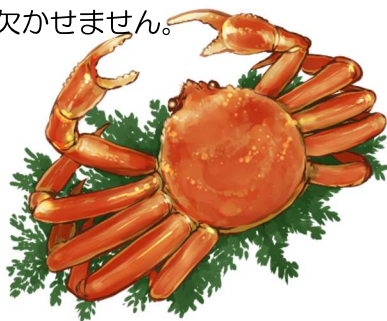
図 4. 平均寿命と健康寿命の比較(2019)



研究地域紹介：鳥取県米子市

米子市は、山陰地方のほぼ中央、鳥取県の西部に位置し、江戸時代には米子城を中心とした城下町として、現代では山陰の玄関口として栄えてきました。人口は、2021年10月31日時点で、146,914人です。

西には日本四名山のひとつでその姿から伯耆（ほうぎ）富士とも呼ばれる「大山（だいせん）」、北には「日本海」と、米子市は豊かな自然に恵まれています。「大山」は高さ1,729mで、一帯の山岳地帯、島根半島の海岸部、三瓶山一帯と隠岐諸島とともに大山隠岐国立公園に指定されています。山岳信仰の対象であった「大山」には、古くからの史跡や神社・寺院が残されており、春の新緑、夏はキャンプや登山、秋は紅葉、冬はスキーと四季折々楽しめ、多くの方が訪れます。日本海に面する皆生（かいけ）温泉は、山陰屈指のリゾート温泉である一方、トリアスロン発祥の地としても知られ、毎年全国大会が行われます。また、冬の味覚かにを始め日本海から水揚げされる新鮮な魚介類は、米子の食を語る上では欠かせません。



胃内視鏡検診研究中央事務局

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

帝京大学

医療技術学部看護学科 保健医療政策研究室

URL: <http://www.j-sasg.jp/>

E-mail: endoscope.jimukyoku@gmail.com

米子市が位置する鳥取県は、多くの著名な多くの漫画家を輩出してきたことから、まんが王国建国記念イベントとして、2012年、「第13回国際漫画サミット」を誘致し、米子市にて「食」と「海」をテーマとして開催されました。ゲゲの鬼太郎でも有名な水木しげるロードのある境港駅へ向かう鬼太郎電車は、米子駅（「ねずみ男駅」）が出発点となっています。

2015年、国（経済産業省）は、生活利便性、教育・子育て、福祉・医療、自然環境、働きやすさなど地域の暮らしやすさを貨幣価値で示す生活コスト「見える化」システムを作成しました。米子市は、このシステムで、「暮らしやすさ日本一」と評価されました。特に、医療・介護環境では、医療施設273施設、介護施設319施設が立地し、「病院または診療所までの距離」「高度な救命措置が可能な救命救急センターまでの所要時間」などの項目で全国1位であり、また、「ショッピングセンターへの距離」「バス停までの距離」などの生活利便性や、「地域の求人倍率」など働きやすさの項目、「地域で採れた食材の入手のしやすさ」などライフスタイルの項目でも高い評価となっています。

米子市のイメージキャラクターは、米子特産の白ネギをモチーフに、Yonagoの頭文字「Y」をデザインした「ネギ太」と「ネギ子」、2人の子どもの「ネギボ」の3人合わせた「ヨネギーズ」です。

次の旅の行き先に、また移住先として、米子市をヨネギーズともどもよろしく願いいたします。



胃内視鏡検診研究事務局